



宮崎県 株式会社杉本商店

「地域と共に『ここでしか作れないもの』を世界へ」

【主な品目】

乾しいたけ・しいたけパウダー

【主な輸出先国・地域】

米国、EU、香港、台湾、ベトナム等(全24ヵ国)

【輸出取組の概要】

- ◆北米向け輸出のためFSMA対応完了及び有機JASを取得。
- ◆更なる輸出拡大のため令和3年に国際規格認証ISO22000を取得。
- ◆世界で唯一、原木栽培の乾しいたけでKOSHER(コーシャ)認証を取得。

【輸出実績】(平成29年度より輸出開始)

	輸出額(万円)	輸出量(t)	出荷時期
令和4年度	1,368	1.3	通年
令和3年度	4,613	12.2	
令和2年度	1,267	1.2	

【効果があった取組】

米国・英国の通販サイトで、乾しいたけの出品を開始し売上が増加した。

【取り組む際に生じた課題】

- 1 輸出のノウハウや商流がなく取扱商社もいなかった。
- 2 生産者の高齢化に伴う労働力不足。
- 3 環境への配慮等、新たな付加価値が必要。

【生じた課題への対応】

- 1 越境EC(電子商取引)を活用。
- 2 特用林産物の生産設備であるアシストスーツを使用した実証実験を実施し、補助対象機器とした。(林野庁の令和3年度広葉樹を活用した成長産業化支援対策事業を活用)また、林福連携により新規就農事業者を雇用。
- 3 生産施設(ほだ場)の建設に他業種で不要になった資材を再利用。

【対応の結果】

- 1 商品の売上げが徐々に増加。
- 2 アシストスーツによる作業の軽労化。また、労働力増加に加え、近隣の障害者支援施設への作業の安定供給と賃金の向上を実現。
- 3 資材の再利用による環境に配慮した乾しいたけとしての付加価値の確立。

【今後の課題・展望】

- 1 インターネット等でZ世代へ情報発信し販路拡大。
- 2 世界最大のベジタリアンを有するインドへの販路拡大。

【活用した支援・施策】 令和4年度、5年度GFPグローバル産地づくり推進事業等

【ウェブサイト】<https://sugimoto.co/>

【連絡先】 担当者名: 杉本 和英、TEL:0982-72-3456



G7宮崎県農業大臣会合にてほだ木を展示



G7宮崎県農業大臣会合にて各国代表者と交流



海外展示会